

# 平成 27 年度 研究計画書

## Research Plan FY2015

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ・アメリカ I 講座
氏名 Name	岡田 新
専門分野 Academic Field	イギリス政治史

### 平成 27 年度 研究計画 Research Plan FY2015

主たる研究テーマ Principal Research Subject	1918年選挙と自由党の衰退				
研究計画 Research Plan	<p>第一次大戦の戦時中に行われた補欠選挙についての分析では、自由党の分裂と愛国主義的労働党候補の登場で、大戦中にすでにエドワード時代にみられた自由党と労働党の支持層の結束は崩壊していたことが明確になった。第一次大戦の終結直後に行われたいわゆる「クーポン選挙」は、この流れを継承し、自由党はロイド・ジョージ連立政権に加わった連立派自由党と、アスクイス派の独立自由党の分裂選挙となり、労働党は躍進を遂げる。しかしこの労働党の躍進については、従来から、自由党支持層から労働党支持へのシフトという歴史的な要因と、選挙制度の劇的な変革—男子普通選挙権と女性有権者の登場—という構造的な要因が指摘され、今なお論議が続いている。本年の研究計画としては、この複雑な問題にアプローチする前提として、1918年総選挙の政党の対決の構図に関するデータを整理して、1910年総選挙と比較し、自由党の分裂、および労働党の候補者擁立が選挙結果に及ぼした影響を分析することにした。</p>				
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research	政治学 20世紀 選挙	西洋史 20世紀 イギリス			
キーワード Keywords	自由党	労働党	選挙	投票行動	